

第9期（2026年度）
一般社団法人渋谷未来デザイン
事業計画書（案）

自 令和8年（2026年）4月1日
至 令和9年（2027年）3月31日

1 一般社団法人渋谷未来デザインの設立趣旨と方針

2018年に設立された一般社団法人渋谷未来デザイン（以下FDS）は、都市課題や未来テーマを構想し、プロジェクトとして立ち上げ社会実装へと導く都市デザイン組織です。渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など多様な主体をつなぎ、産官学民共創でまちを動かしながら、オープンイノベーションによる社会課題の解決と新たな価値創出に取り組んでいます。また、渋谷区基本構想の「ちがいをちからに変える街。渋谷区」の未来像に掲げられた7つの分野（A：子育て・教育・生涯学習 B：福祉 C：健康・スポーツ D：防災・安全・環境・エネルギー E：空間とコミュニティのデザイン F：文化・エンタテインメント G：産業振興）の実現に向けて、プロジェクトを推進しています。

2026年度も『Create Culture, Drive Diversity & Social Innovation』をキーワードに、多様な個性や価値観を原動力として、渋谷という都市フィールドから新たなカルチャーとソーシャルイノベーションを生み出し、都市の可能性を拡張しています。

9期目のテーマは、「共創を都市の文化へ。」

テーマ（問い）をひらき、担い手を育て、社会実装し、文化として残す。

この循環を加速させることで、渋谷から共創文化を広げ、イノベーションが生まれ続ける都市と社会の実現を目指します。

2 事業カテゴリー

【地域事業】

・地域課題解決事業

都市や地域社会が抱える課題に対し、解決に向けた取り組みをプロジェクトとして具現化し、持続可能な地域づくりを推進する事業。

・地域交流・活性化事業

コミュニティ形成とその文化に根差した活動を通じて、人々の交流を促進し地域の魅力を高める事業。

・地域可能性創造事業

地域資源や文化、先端技術などを活用し、都市の新しい価値や可能性を創出する事業。

【基盤事業】

・法人運営・広報

法人会員制度の運営およびPR・マーケティング活動を通じて、法人の認知向上と活動の発信を行う基盤事業。

・都市共創ネットワーク推進

まちづくりに関する団体・大学等との連携や会議体への参画を通じて、ネットワーク形成を推進する基盤事業。

3 2026年事業計画

地域課題解決事業

1 ソーシャルイノベーションウィーク (SIW)

渋谷区の行政課題や社会テーマを起点に、産官学民が連携して対話・構想・体験・実証を行うソーシャルデザインプラットフォーム。多様な主体が出会い、アイデアや知見を共有することで、新たな社会価値や文化、産業の創出を目指します。SIWは渋谷区とFDSが共催し、企業、区民、まちづくり関係者、NPO、行政など多様なプレイヤーが集う場として、渋谷の社会共創を加速する都市プラットフォームとして機能します。

- ・社会課題テーマを起点とした共創セッションの実施
- ・企業・行政・市民等による共創プロジェクトの創出
- ・SIW CONFERENCE を中心とした社会テーマの発信
- ・地域イベントや文化イベントとの連携
- ・次世代・若者の参加促進
- ・渋谷発ソーシャルイノベーションモデルの国内外への発信

2 みらいの図書室

子どもたちが好奇心や多様な価値観と出会い、自分の可能性を見つけることができる「第三の居場所」を創出するプロジェクト。交流や教育プログラムを通じて、子どもたちが夢や関心を広げ、社会とのつながりを育むことを目指します。

2026年度は地域や企業・団体との連携を強化し、より多様な体験と学びの機会を提供します。

- ・企業・団体連携による教育プログラムの拡充
- ・交流イベント・ワークショップの開催
- ・不登校児童への体験機会の提供
- ・地域コミュニティとの連携
- ・親子向け認知拡大

3 カーボンニュートラルアーバンデザイン (CNUD)

渋谷らしいクリエイティブな視点から、経済活動と都市環境が調和する脱炭素社会の実現を目指し、都市での実証と社会実装を推進するプロジェクト。企業・行政・研究機関・市民など多様な主体が連携し、持続可能な都市モデルの創出を目指します。

- ・SHIBUYA GREEN SHIFT PROJECTの推進
- ・子ども向け環境講座や地域イベントの展開
- ・MEET UP によるピッチ・マッチング機会の創出
- ・SHIBUYA COP2026 等による共創プロジェクト創出
- ・GREEN EXPO 2027 に向けた都市連携

4 もしもプロジェクト

都市における地域防災力の向上を目的に、「みんなでもしもを考える」ことをテーマに防災意識を都市の日常に広げるプロジェクト。区民・来街者・企業など多様な主体がともに備える都市の防災文化の醸成を目指します。

- ・都市型防災イベント「もしもFES」の実施
- ・防災対応店舗「マモリシュラン」の拡大
- ・防災アプリの普及促進
- ・企業・地域連携プログラムの推進
- ・「防災×睡眠」など新テーマの共創

5 渋谷グッドマナープロジェクト

路上飲酒、路上喫煙、ポイ捨て、交通ルール違反、迷惑行為など都市空間の課題解決に取り組み、渋谷を安全・安心で快適な街へ導くプロジェクト。

企業や行政、地域と連携し、マナーを“守るもの”から“楽しみながら広げるカルチャー”へと発展させます。

- ・Action for 0 等の共創プロジェクト推進
- ・商店会・商業施設とのエリア施策実施
- ・Shibuya Safe Ride Project の展開
- ・渋谷闇バイトゼロプロジェクトの始動
- ・IPコラボやデジタル施策の開拓
- ・参加型マナーアクション創出

3-2 地域交流・活性化事業

6 ササハタハツ・本町コミュニティ共創プロジェクト

市民共創によるまちづくりを推進し、行政・地域住民・企業・団体が連携して、ササハタハツおよび本町エリアの暮らしの質向上を目指すプロジェクト。ササハタハツまちラボの運営協力をはじめ、スポーツや文化、学びを軸に、第三の居場所づくりや体験機会の創出を通じて、コミュニティの活性化を図ります。多様な主体が交わることで、関わりたくなる「場所」と「仲間」を生み出し、持続的な地域価値の向上につなげます。

- ・プロジェクトの認知向上および広報施策の推進
- ・「388AreaMakers」の拡充と交流機会の創出
- ・地域ファン層の拡大によるコミュニティ活性化
- ・官民共創型プロジェクト創出・推進
- ・みらいの図書室(「地域課題解決事業」再掲)
- ・渋谷プレイグラウンド(「地域交流・活性化事業」再掲)

7 渋谷プレイグラウンド

街・公園・ストリートといった都市空間を舞台に、ストリートスポーツやダンス、ランニング、ヨガ等の身体活動を含む多様なストリートカルチャーの可能性を拡張し、次世代育成とコミュニティ形成を軸に渋谷らしいスポーツ文化を育てていく都市共創プロジェクト。

代々木公園BE STAGEやSpot.Yoyogi Park を拠点に、スポーツやカルチャーが日常的に集うコミュニティを形成するとともに、15歳以下のストリートスポーツ振興や地域クラブ活動を通じて、子どもたちが学校の枠を超えて個性を発揮できる環境づくりを推進します。また、企業や地域との共創によりスポーツやカルチャーを街へ広げるとともに、XR・AI・メタバースなどの先端技術を活用した都市体験の実証を進め、リアルとデジタルが融合する新しい都市カルチャーの創出と発信を目指します。

- ・拠点を軸としたコミュニティ運営と継続的なプログラム運営
- ・15歳以下のストリートスポーツ振興「Next Generations」イベントの実施
- ・地域クラブ活動「渋谷ユナイテッドストリートスポーツクラブ」の運営
- ・企業共創による社会課題解決と都市文化の創出（「いい汗、渋谷。アクション」等）
- ・ストリートスポーツ、ダンス、音楽、アート等のカルチャーイベントの実施
- ・XR・AI・メタバースなど先端技術を活用した都市体験の実証

8 わたしたちのウェルネスアクション

ライフステージや性差に伴う健康課題に対する認知拡大と解決を目的に、メッセージ発信や啓発活動を推進し、誰もが心身ともに健やかに、自分らしく生きられる社会の実現を目指すプロジェクト。企業・行政・教育機関等と連携し、セミナーやイベントを通じてウェルビーイング向上を促進するとともに、コミュニティ形成や調査・レポート発信を通じて社会課題の可視化を進めます。

- ・ライフステージや性差に伴う健康課題に関する情報発信と啓発活動
- ・企業・行政・教育機関と連携したセミナーやイベントの実施
- ・当事者がつながるウェルネスコミュニティの形成
- ・心身の健康課題に関する調査およびレポート発信
- ・企業・行政・学校等との実証的取り組みの推進

9 渋谷スマートドリンクングプロジェクト

お酒を飲む人も飲まない人も、すべての人が楽しめる場づくりと社会づくりを渋谷から全国へ広げていくことを目指し、“適正飲酒”を含む新しい飲み方の文化を産官学連携により発信するプロジェクト。SIW等を活用しながら学生や企業と連携し、多様なライフスタイルに対応したスマートドリンクングの普及を推進します。

- ・スマートドリンクングおよび適正飲酒に関する啓発活動の実施
- ・大学連携による講義・アンバサダー活動・商品開発等の展開

- ・渋谷区・商店街等と連携した地域マナー啓発活動
- ・SIW等を活用した活動成果の発信と社会議論の場の創出

10 渋谷アーバンファーマーミングプロジェクト

アーバンファーマーミング（都市農）を通じて、都市の緑地化や生物多様性の促進、渋谷らしいコミュニティ形成と新たな食文化の創出を目指すプロジェクト。都市におけるサステナブルな暮らしのモデルを渋谷から発信します。

- ・民間所有地への都市農ファーム設置推進
- ・探究学習プログラム「シブヤ未来科」の展開
- ・都市農業の社会実装に向けた渋谷区との検討
- ・企業・地域と連携したアーバンファーマーミングコミュニティ形成

3-3 地域可能性創造事業

11 Go Global プロジェクト

若者が世界へ挑戦する機会を広げるとともに、文化や創造性を世界へ発信する都市プロジェクト。教育機関、企業、文化関係者など多様な主体と連携し、国際交流や海外挑戦の機会を創出します。

- ・若者の海外挑戦支援プログラムの実施
- ・教育機関・企業との国際交流プログラム
- ・文化・クリエイティブ分野の海外発信
- ・海外都市・団体との都市交流推進
- ・国際人材交流ネットワークの構築

12 これからのまちづくり戦略

渋谷の安全・快適・便利なまちづくりに向け、行政と民間が連携し、交通や都市活動に関するデータの共有・分析・可視化を進める都市DXプロジェクト。交通や移動の課題解決を通じて、社会的価値と経済的価値の両立を目指します。

- ・渋谷交通データWGの拡充
- ・都市データ勉強会の開催
- ・自転車利活用施策の検討
- ・交通データ分析による政策提案
- ・モビリティマスタープラン検討

3-4 法人運営・広報事業

法人会員制度の運営を基盤に、広報・PRマーケティング活動を通じてFDSの認知向上と活動発信を行うとともに、産官学民共創による都市共創プラットフォームの基盤づくりを支援します。

- ・法人会員制度の運営およびパートナー連携強化
- ・企業・大学・行政との共創プロジェクト創出支援
- ・CO CREATIONアカデミー開催による企業・組織の共創人材発掘支援
- ・PR・マーケティングによる情報発信強化
- ・SNS・YouTube・イベント等による発信
- ・メディア連携による認知拡大とブランディング強化

3-5 都市共創ネットワーク推進事業

国内のまちづくり団体やエリアマネジメント組織、大学等との連携・協力を進めるとともに、会議体への参画や視察交流などを通じて都市づくりに関するネットワーク形成を推進します。

- ・まちづくり団体との情報交換・連携
- ・大学・研究機関との都市課題連携
- ・都市づくり関連会議体への参加
- ・他都市視察の受け入れ・交流
- ・視察プログラムの企画・実施

4 まとめ

2018年度より、渋谷未来デザインは組織として自走するプロジェクトの構築と運営を進めてきました。2026年度も、渋谷区や地域との連携をさらに強化し、150を超える企業・団体のパートナーとともに、それぞれの事業や活動に生かされる共創の機会を創出し続けます。渋谷から生まれる新たな共創モデルを他都市へ広げながら、地域社会における共創型組織の役割を確立していきます。

2026年5月26日作成